

保護者等向け 児童発達支援評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12				・広いので十分確保されている ・行きたいところに自由に行けるので、のびのび過ごせていると思います ・ホールや園庭だけでなく、野外活動しのびのびしている
	2 職員の配置数は適切であるか	12				・職員の方に丁寧にみていただいている
	3 職員の専門性は適切であるか	11	1			・ときどき子どもの様子について専門的に教えて下さる ・理学療法士さんの知識で、身体の動かし方などおしえていただけて助かっている。
	4 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか	12				・生活のリズムがしっかりしているので環境も同じくわかりやすいと思う
	5 生活空間は、障がいの特性に応じ、事業所の設備等が、バリアフリー化されたり、本人への情報伝達を分かりやすくするなどの配慮が適切になされているか	9	1		1	・まだまだバリアフリーにするほど自立歩行ができていないので何とも言い難い →玄関にスロープが設置されているが、スロープに子どもが集まってしまい使いにくくなっていった。そのため、子どもが集まらないように工夫をし、歩行が難しい方がスロープを使用し移動がしやすいよう改善をした。
	6 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	2			・土山の裏が少し心配です →危険の予測がつきにくいお子さんについては、土山の裏に限らず、職員の目が届く範囲で遊ぶように対応している。 ・パンツで過ごしているのですが仕方ないことですが、おしっこで床がぬれていることがあります。 →「おしっこをしたい“感覚”」を育てていくため、トイレが確立していないお子さんも布パンツで過ごしている。排泄があった際は、職員がすぐに拭くようにしているが、職員が子どもの排泄に気が付くのが遅くなってしまふときがあるのかもしれない。職員みんなで気を付けていきます。 ・トイレが汚れていることがありく少し気になります。 →トイレがまだ上手にできない2～3歳のお子さんは、トイレに間に合わなかったり、トイレに命中せずに汚してしまう時がある。定時でのトイレ誘導はせず、子ども達の意志でトイレに行くので、トイレをする際に職員がついていないこともある。そのため、職員が定期的なトイレの掃除と消毒を行うようにしている。 →子どもたちに、トイレの使い方も教えていきます。
適切な 支援の 提供	7 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ i 作成されているか	12				・子どもの今の特徴をきちんと理解していただき、今後に向けて計画を立てていただいている ・実績と経験豊富な職員の方が多く安心して任せられている
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12				・具体的でわかりやすい
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12				・細かく確認はしていないが、だいたい合っていると思う。(今後はきちんと確認をするようにする)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
	10	活動プログラム※ ii 固定化しないよう工夫されているか	12				・日々色々なプログラムを考えていただいている
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10			2	・大いにある ・常に健常児の子と接することができ毎日刺激を受けています
保護者への説明等	12	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				・丁寧に説明いただき納得している
	13	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11			1	・ガイドラインをきちんと認識していなかったためわからない →保護者の方へのガイドラインの説明が不十分でした。茶話会等で、保護者の方にガイドラインの説明をしていきます。
	14	保護者に対して家族支援プログラム(保護者支援、ペアレント・トレーニング※ iii 等)が行われているか	10	1		1	・家庭訪問に来て下さるなど多めに支援していただいている ・母子通園の際いろいろ教えていただき勉強になっています
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12				・私も伝えるようにしているし、職員の方も細かく教えてくださる ・迎える時ややりとりノート、ラインなどでも密にできていると思う
	16	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				・数カ月に1回きちんとした形でなくても面談していただいている ・しっかりと面談があり安心できる
保護者への説明等	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	1		1	・茶話会、クラス会などで機会がある ・コロナため難しいところがある(誘いづらいなど) →茶話会等を1~2か月に1回は実施してきたが、感染症を心配され、参加ができなかった方もいる。そうした状況が長期に渡る場合は、個別での保護者支援をしっかりと行うよう配慮している。
	18	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12				・電話したときは迅速に対応して下さる ・身体不自由な所について一緒に考え、先を見通しての提案もしてくれ助かっている
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12				・やりとりノートやクラスの一日の活動記録が丁寧に書かれていてわかりやすい
	20	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9			3	・具体的にどういったことを言っているのかわからない →月に1回、事業所内向けにお便りを発行している。普段とは違う活動がある際には、活動のねらいなどを記入したお便りも発行している。自己評価の結果は、茶話会で保護者のみなさんに周知している。
	21	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12				
非常時等の対応	22	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	1		2	・緊急時の対応がよく分かっていません ・自分が認識していないだけかもしれません →契約時に簡単な説明をしているが、丁寧な説明がされていない。今後、茶話会等で、周知・説明をしていく。
	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			1	・避難訓練の取り組みが真剣さが伝わってくる
満足度	24	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1			・まだ自分から表現しないが楽しみだと思う ・帰りの会や次何をやるか、子どもがイメージしやすいよう、先生方が伝えてくれるので楽しみにしている
	25	事業所の支援に満足しているか	12				・手をかけていただき大変満足している ・職員の方たちには感謝しかありません

※ i 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ ii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iii 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。